

1. 開催概要

「研究・実践お悩みもろもろ相談ゼミ —オンラインでつながり、研究や実践を共に耕そう—」

<開催日時>

2月25日(土)13:00-15:10

<開催趣旨>

ネットワーキング委員会では、昨年につき、特に若手の研究者・実践者のニーズに対応して、大学院におけるゼミや学会発表よりも敷居が低く、自身の研究や実践の計画・現状についての情報交換や悩みを相談できるイベントとして、「研究・実践お悩みもろもろ相談ゼミ」を開催した。「発表者」は、悩みや迷いも含めて気軽に今自分が行っている研究や実践について発表し、参加者から、質問やコメント、アドバイス等をもらうことができた。また「参加者」は、発表から刺激や気づきを得たり、他の参加者の質問やコメントから新しい視点を得ることができた。

<実施形態>

オンライン(Zoom)

<プログラム>

13:00-13:10 趣旨説明、全体でウォームアップ(10分)

13:10-14:00 相談ゼミ①(50分)【ブレイクアウト①】

14:00-14:10 休憩(10分)

14:10-15:00 相談ゼミ②(50分)【ブレイクアウト②】

15:00-15:10 まとめ(ふりかえり、感想、今後希望する活動アンケートなど)

実施に当たっては、各グループにネットワーク委員1名と、「発表者」1名、「参加者」2～3名を配置。5つのグループに分かれてブレイクアウトセッションを、13:10から14:00までと、14:10から15:00までの2回実施した。全ての「発表者」が、異なる「参加者」に対して、前半と後半、2度発表し、交流を行った。最後に全体に戻っての共有、まとめを行った。

2. 参加状況

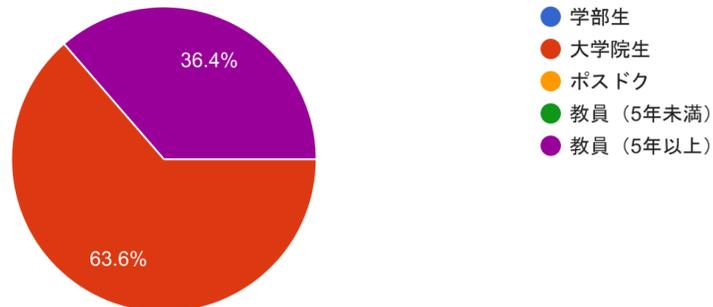
発表者5名、参加者8名、ネットワーキング委員5名

事後アンケート回答者10名(発表者4名・参加者6名)

<参加者プロフィール>

プロフィール

11 responses

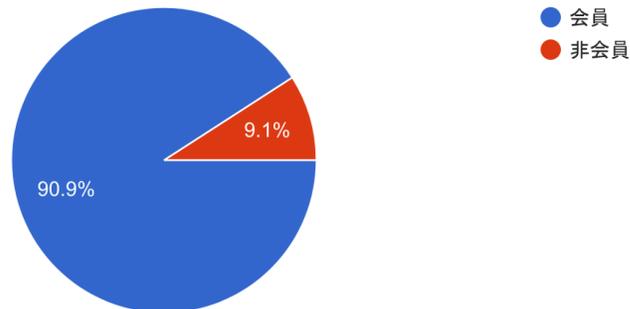


大学院生が7名、教員(5年以上)が4名参加。

<会員・非会員>

会員または非会員

11 responses



非会員1名・会員10名。

3. アンケート結果報告

<本日の交流会の内容について、ご感想などを自由にご記入ください。>

「発表者」のコメント

皆様のご意見、ご助言、大変ありがたかったです。今後ともよろしく願いたします

以前から「お悩み相談会&ネットワーキング」に参加したい！「紀要に実践報告を投稿したいけど、分析をどうしたらいいかわからない！誰か相談にのってほしい！」と思っていたところ、メールでご案内があったので、「渡りに船」だと思い、発表しました。様々な視点からお話&アイデアをいただき、嬉しかったです。放置していた実践報告の執筆もやる気が出てきました。ありがとうございました！皆様と今後も繋がっていきたくです。よろしく願いたします。

皆様本当にありがとうございました。皆様の何とかしてやろうという熱意と蓄積されてきた高い能力を惜しみなく与えてくださる人間性に感動いたしました。研究面でも人間としても非常に勉強になりました。参加して本当に良かったと思います。このような機会をくださり本当にありがとうございました。

実践研究の方法論について具体的アドバイスをいただいたり、国際共修の取り組みについて教えていただいたり、一方で取り組みに対する率直な質問をいただいて、自分の実践の曖昧なところがクリアになりました。また、学会とは違って厳しく怒られることがなかったのがありがたかったです。ずっと日本語学の研究をしていて、実践研究の初心者なので、ご教示いただけて本当に良かったです。自分で先行研究を読むだけでは問題は解決できませんから、口頭でコメントを直接もらえたことが勇気につながりました。よい機会をありがとうございました。

今後の発展にむけて、ためになる意見をいただけて良かった。また、意見をもらうといった関係だけでなく、素直に一人一人に人柄を知り交流できたので、それがなにより良かった。

「参加者」のコメント

生き生きとしたあたたかい会で、とても良かったです。皆様のご尽力のおかげです。企画運営、おつかれさまでした。

他の方がどのような研究をされているのか良くわかり、自身の研究の参考になりました。

コアなグループでいろいろな議論ができてとても良かったです。自分は参加者として参加したのですが、たくさん学ばせて頂いたので参加して良かったです。

大変良かったです。次回は自分も発表者になってみたいと思います。同じ関心領域の方とグループになれたのがとても話が盛り上がり良かったです。

さまざまな考え方やアイデアをお聞きすることができ、参加者としても本当に学びが大きかったです。特にベテランの先生方の会話が勉強になりました。「発表者」の方がニコニコして振り返りをされていたのが印象的で、良い会になったんだと感じました。お忙しい中、企画・運営いただきありがとうございました。

この会に参加させていただくのは2度目なのですが、今回もとても勉強になりました。発表者でなくても、コメントの練習になりますし、他の人のコメントがとても参考になります。研究の種類によって、自分の(限られた)経験値が生かせる場合とそうでない場合があります、後者の場合は発表者に申し訳なさを感じます。2周目であまり意見が出ない場合などは、1周目で出たコメントを紹介してもらうのも手ではないかと思いました。それが呼び水になってより良い議論ができるかもしれません。

<運営に関して、お気づきの点>

アイスブレイクも良かったと思います。BORの中でも委員の方が司会をしてくださり話しやすかったです。

だいたいの開催時期が早めにわかっていると、自分の研究スケジュールを立てながら相談者としての参加をしやすいように思いました。

私は発表者でしたが、参加者の方々が自分が聞きたいルームに入ることができたか少し気になりました。後半は希望をお伺いしていましたが、参加者が自由にブレイクアウトルームへ移動できる形でも良かったかもしれません。でも、そうすると、だれも参加者がいないルームができてしまう恐れもあるので、むずかしいですが。。。

二部構成になっていて、2つのグループで2回発表して、異なる方々にコメントいただけたことは本当に有意義でした。同じ発表に対しても違う視点や参考文献、解決方法を提示していただき、2時間の会であるにも関わらず、これほど充実した実の詰まった時間はないと思えるほど得たものは大きかったです。二部構成で2回発表するこのスタイルはとても効果的で素晴らしいと思います。また企画して下さった方々も、とても話しやすいようにグループを回して下さいました。このような会話非常に有益だと思います。本当にありがとうございました。

当日までの指示がとてもわかりやすく、安心して参加できました。ご準備ありがとうございました。

<大会の交流会に向けたアイデア・ご意見>

小さいグループがいいと思います。50分は短かかもしれませんが仕方がないですね。テーマは分析方法について詳しく相談できると嬉しいと思います。

若手とベテランの会員が混ざっている／どちらの会員とも話せる機会がある、と学びが大きかったです。とても参加したいのですが、今スケジュールの関係で、異文化間教育学会自体に参加できるか調整中です。異文化間教育学会に参加できる場合は、ぜひ参加させていただきます。

分析方法、紀要に採択される論文執筆方法(すいません！個人の希望が強いですが)

まずは今日のようなリラックスした雰囲気での研究交流をして、仲間を見つけたいです。内容も、やはり今日と同じく、学会に出す前の相談のようなことができればいいなと思います。

4. 振り返り

今回ネットワーキング委員会では、特に若手を意識したイベントを実施する方針で委員の中で検討を行った結果、昨年発表者・参加者から多くの肯定的なコメントを得た「相談ゼミ」を再び実施することにした。

今年も、参加申込登録を参考に、ブレイクアウトセッションのグループについて、興味関心や研究・実践年数を考慮し、委員で組み合わせを事前に検討した。当日は、欠席者も数名発生したものの、おおむね想定通りのグループ分けにて実施ができた。ブレイクアウトセッションには、委員が1名ずつ入り司会を行うという形で実施した。前回実施時に課題として挙げられていた、レジュメの事前公開について、今年は、発表者の同意を得たものについて、実施してみることができた。今回の企画も、ネットワーキング委員のメンバーの皆さんが大変素晴らしく、企画、案内、募集、グループ分け、欠席者対応、当日の進行など、細かな点まで配慮した準備を行うことができ、当日の司会、運営なども大変スムーズに実施することができた。

参加人数自体は限られていたものの、イベント終盤の発表者による振り返りでは、みなさん非常に満足した様子が伺え、事後アンケートにおいても、発表者・参加者ともに肯定的なコメントをいただき、当日有意義な時間を過ごしていただけたことが確認できた。今回の発表者5名については、参加後のアンケートのプロフィールによると、3名は大学院生であり、残りは、教員(5年未満と、20年以上が1名ずつ)とのことだった。概ね、今回の企画の想定通り「若手」の方々を中心にご発表いただいたことになる。参加者も、発表を聞き、質疑応答を行うことで、気づきや学びにつながったというコメントをいただくことができた。今回のイベントは、学会としてのネットワーキング・研究・実践の促進に一定の役割を果たせたのではないかと考える。参加者の方からは、次回は発表者として参加したい、というコメントが見られており、来年度以降も今回のような企画を実施する可能性も検討できる。

課題に関しては、発表者は5名集まったものの、参加者を集めるのに苦労した。当日が、国立大学の試験日と重なっていたことも、参加者候補となるベテランの方々のご予定と重なってしまった可能性がある。来年度実施の際は、日付設定の際に国立大学の入試時期の確認を行いたい。

次回は、大会における対面の交流会「ふらっと交流サロン」を、6月10日(土)に予定している。1時間と限られているが、前回実施時の反省を活かし、また、今回の参加者から得られたアイデアも参考にしながら、有意義な場に行えるようにしたい。